



令和7年度

所沢市立南陵中学校 グランドデザイン

教育基本法
所沢市教育大綱
所沢市の教育理念
所沢市教育振興基本計画
学習指導要領

目指す学校像

人と人とが交わり、笑顔と活力にあふれ、温もりと居場所がある学校

- 生徒にとって「生き生きと学び、安心して通える学校」
- 教職員にとって「互いの持ち味を大切に、協働と感謝のある学校」
- 保護者にとって「子どもの成長が見え、信頼できる学校」
- 地域にとって「明るく開かれ、応援したくなる学校」

学校教育目標

心豊かな生徒

自ら学ぶ生徒

健康でたくましい生徒

目指す生徒像

自己を見つめ、自他を大切に、互いにつながる生徒

- ・自主
- ・自己肯定感
- ・受容・共感
- ・自律
- ・敬意・尊重
- ・コミュニケーション

自ら学び、互いに高めあえる生徒

- ・意欲
- ・協働（学び合い）
- ・メタ認知（振り返り）

心身ともに健康で、積極的に挑戦できる生徒

- ・体力向上
- ・向上心
- ・楽観性
- ・忍耐力

目指す教職員像

- 生徒に寄り添い、耳を傾け、言葉を大切にしながら、生徒の「自立」を支援できる教職員
- 教育公務員としての使命感と責任感を持ち、謙虚に学び続ける教職員
- 「協働・感謝」のもと職務を能率的に遂行し、健康と生活を大切にする教職員

学校経営方針

全教職員の「誠意・創意・熱意」を結集した協働の学校づくり

基本理念「はじめに子どもありき」～生徒たちの現在地を知るところからはじめる～

○学校は生徒のよさや可能性を伸ばすところ

○学校は安全で安心して学べるところ

本年度の重点

- 「トころん学力向上プロジェクト事業」を踏まえた教育活動の展開
 - ・生徒が安心して学べる心理的安全性の高い学年、学級づくり
 - ・生徒が互いに成長を実感できる「学び合い」の実現
 - ・各教科における「主体的・対話的で深い学び」の実践による学力向上
 - ・「問い」と「出会い」を大切に、生徒が主体的に取り組む教育活動の展開

子どもたちの「生きる力」を育てる教育プログラム

1 教育活動の中核である授業での取り組み 自己肯定感を育みながら学力を向上させます

- ・生徒の必要感・達成感を大切に、自ら学ぶ意欲を育てます。
- ・「学び合い」による協働を通して高め合い、学びを深めます。
- ・振り返りを通して、自分の学びを深め、次の学びにつなげます。
- ・「気持ちを働かせて積極的に聴く、話す」姿勢を重視します。
- ・生徒一人一人の学力・体力の実態を把握し、個に応じた支援につなげます。

2 自分や他者を大切にする心の育成 学校生活を通して、互いの存在を大切にできる生徒を育てます

- ・学年や学級の活動、学校行事、体験活動を通して、自主的な活動を進め、協働しながらお互いの良さを認め合え（受容・共感）、自己有用感をもち、互いに「つながる」力を育てます。
- ・生徒会活動を通して、主体的に学校生活をつくっていく力を育てます。
- ・学校生活の基本（時を守り、場を清め、礼を尽くす）をベースに、メリハリのある学校生活を作ります。
- ・心のエネルギープロジェクト、道徳教育、人権教育を通して、自他を尊重する心を育てます。
- ・ソーシャルスキルトレーニング、ストレスマネジメントの授業、スクールカウンセラーによる講話等を通じて、自分をコントロールできる力を育てます。
- ・いじめ防止基本方針に則り、いじめの予防と早期発見、早期対応をします。
- ・情報モラル講演会を実施し、情報の望ましい取り扱い、活用について学びます。

3 命の大切さを実感させる取り組み 取り組みを通して自他の命を尊重できる生徒を育てます

- ・道徳の授業において「生命の尊重」を重点的に実施します。
- ・赤ちゃんとのふれ合い事業（つばめ児童館と連携）を実施します。
- ・避難訓練、日常における安全指導（交通安全、事故防止等）を充実させます。
- ・薬物乱用防止教室、救急救命講習、性に関する講演会を実施し、自他の命を守り育てる意欲を育てます。
- ・食育、保健指導等を通して、自分の心身が健康で安全な生活について、自ら保持増進できる資質能力を育てます。

4 生徒指導・教育相談体制の充実 生徒一人一人に寄り添いながら組織的に支援します

- ・学年、学級では、日頃から、自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の育成を重視しながら、心理的安全性の高い学校づくりを進めます。
- ・「トライ・アンド・エラー」を繰り返しながら、「失敗」を成長のチャンスとできるよう支援します。
- ・学級満足度・学校生活意欲等を自己点検する心理学的アンケートを年2回、こころと学校生活のアンケートを年5回実施し、生徒の実態把握、いじめの早期発見に努め、生徒の学校生活の安定につなげます。
- ・1年生は入学後にスクールカウンセラー・相談員との個別面談を全員実施し、「中1ギャップ」の軽減を図り、中学校生活がスムーズに送れるようにします。
- ・生徒、保護者のサポート機能としての相談室の機能を充実させます。

5 小学校をはじめ、関係団体との連携 地域の大人総がかりで地域の子どもの育てます

- ・小学校との連絡会議、合同研修等を通じて、小中9年間で子どもを育てられるよう連携を進めます。
- ・生徒の見守り活動など、PTA、愛校会と連携、協力して子どもを育てます。
- ・吾妻子ども会議（南陵中学校区学校・地域連絡協議会）を通して、地域ぐるみで子どもを育てます。
- ・所沢市子ども相談センター、児童相談所、民生児童委員等関係機関と必要に応じた連携を進めます。